

国際交流員のコラム

●ご存知でしたか？東洋と西洋の違い●

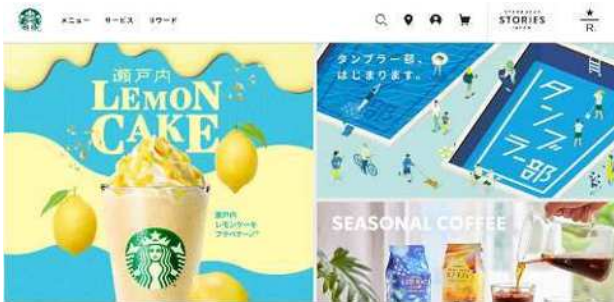
ー 鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン(シンガポール出身)

日本のウェブサイトと西洋のウェブサイトの違いに気づいたことはありますか？この話題は、ある日の雑談の中で出てきて、興味を持ってさらに調べてみました。

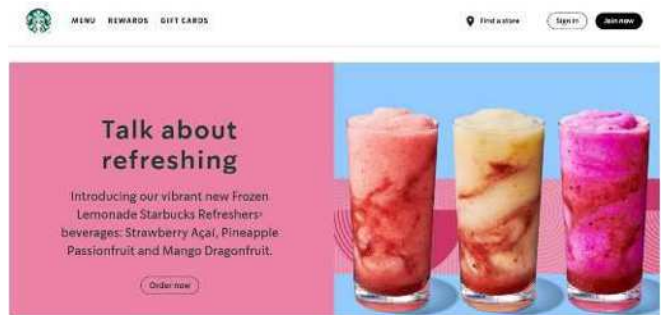
もちろんこれは一般的な話であり、その中には違いも例外も必ずありますが、特に電子商取引や販売サイトの場合、日本のウェブは一般に異なる設計になっているように見えます。

日本のサイトを見ると、よく派手な色、きらきら光るバナー、隙間なく敷き詰められている文字、多くのコラムとかがあって、全体的に混雑なイメージを持つ方が多いです。逆に、西洋の方のサイトはシンプルなデザインで、少ない焦点を持つミニマリストな外観がよくあります。

それはなぜでしょうか？



日本のスターバックス



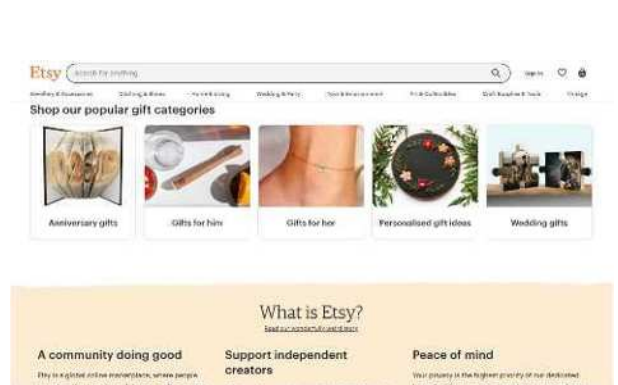
グローバルのスターバックス

なぜこうしたウェブデザインの違いがあるのか、4つの理論を紹介します。これらの理論における西洋人はヨーロッパ、そしてヨーロッパ人が定住した米国、カナダ、オーストラリアなどの人々として定義します。一方で、日本を含めた中国、韓国などは東洋人と定義します。

また、このコラムはどちらの文化が良いかではなく、文化の違いを明らかにすることを目的としています。



日本のショッピングサイト楽天市場



アメリカのショッピングサイト

文化心理学的

私たちの脳が情報を処理する観点から見ると、西洋人と東洋人の世界観は一般的な違いがあるとの研究があります。

西洋人は全体的に、個々の物に焦点を当てて細部と関連付ける「分析的思考者」の傾向が見られます。

一方、東洋人は全体をとらえてから物事の関係に焦点を当てる「総合的思考者」の傾向がみられるため、どのような場面でも場の空気を読んでいきます。

この情報処理の違いは東洋と西洋の情報の提示方法にも違いを生んでおり、東洋では西洋と比べて情報量が圧倒的に多く、文脈に沿ったものになっています。また、明らかに中心となる情報はないものの、文脈上の関係を通じた構成が見られます。

このため、日本のウェブサイトでは限られたスペースに最大限の情報が無駄なく詰め込まれ、余白も最小限となった右のチラシのようなものになっています。



分析的思考者・総合的思考者



日本のチラシ

言語的

象形文字がベースの文字の日本語には1つの漢字で多くの意味が含まれています。一方、英語はアルファベット言語であり、それ自体では何の意味も持たない文字ですが、並べると意味を形成する言語体系です。

そうすると、日本人にとっては短時間で多くの情報を処理することができますので、詰め込まれたウェブサイトは乱雑ではなくて、効率的に情報が詰め込まれるように見えます。

言語の「密度」

各言語で書かれたツイートを英語に自動翻訳した文章の長さとの比較した。
同じ140文字でも中国語/日本語/韓国語のほうが英語より2-3倍多く書ける。
各データ点は100-1200ツイート程度から算出
15/03/27 @kenkawakenkenke



<http://kawalabo.blogspot.com/2015/03/140.html> より

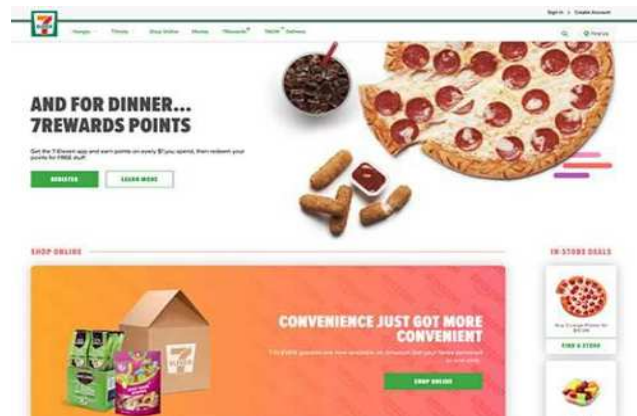
消費者心理的

一般的に、日本社会ではリスクを取り、集団から目立つことが好まれないと言われます。消費者は物を買うとき、長文で細かく書いた商品の説明などで高い安心感をもらえます。

逆に、西洋のユーザーは感情的な繋がりの方を求めているようです。ですので、西洋にはよくシンプルだけどインパクトのある内容を乗せたサイトでキャッチーな宣伝文句と綺麗な画像だけで載せられています。



日本のセブン-イレブン



アメリカのセブン-イレブン

技術的

あと、日本ではスマートフォンが登場する以前、ネットでもつながる折り畳み式携帯電話が長く使用されていました。

その時、画面はすごく小さいので、多くのウェブサイトは小さなスペースにコンテンツを詰め込んでいて、その影響は今も残っていると言われています。

それ以来、ウェブの状況は大きく変わり、日本のサイトもだんだんグローバルな外観に変化しますが、今でも多くのサイトはまだ同じままでした。



ヤフー・ジャパン 2014



ヤフー・ジャパン 2023

まとめ

雑談をきっかけにとっても勉強になりました。

文化で情報の提供と受け取り方に大きな影響があるのはすごく面白くて、お互いの異文化理解にも必ず役に立つと思います。どちらのアプローチが優れているとは言えず、ただ違いだけです。

ですので、次回シンプルなミニマリストの西洋サイトと敷き詰められている情報量多い日本サイトを見ると、その背後には実際に理由があることが分かると思います！
